



宮澤靖代表理事

謹賀新年

栄養経営士のスキルアップと ネットワークづくりを進める年に！

2014年5月に設立した一般社団法人日本栄養経営実践協会は、今年5周年を迎えます。栄養経営士正会員は641人、栄養経営サポーターは23人に増えました(2019年1月17日現在)。
 宮澤靖代表理事より、新年のご挨拶を申し上げます。

診療報酬・介護保険制度を見直し、 日々の業務の数値化・公表を

新年、明けましておめでとうございます。本協会は皆さまのご指導・ご鞭撻により、今年5月で設立5周年を迎える運びとなりました。厚く御礼申し上げます。

早5年、やっと5年という感じですが、栄養経営士が年々増加しているのは、現場で求められているスキルだからではないかと思えます。

昨年の診療報酬・介

護報酬改定はマイナス改定となり、今年10月には消費税増税も予定されています。税率が2%上がるということは、売り上げが2%下がるということになります。

栄養部門の経営、地域の医療機関としての生き残りを考えたとき、コスト管理と積極的な算定のバランスが重要になるのではないのでしょうか。その際に、トータルコストで考える栄養経営の理論が、

患者を、病院を、ひいては地域を守るスキルになればと願っています。

必要なことではないでしょうか。そして今年には「成果の数値化」をお願いしたいと思えます。数値化した成果をしかるべきところで公表していけば、国を動かし、算定の見直しや新設も可能になります。そのため、まずは日々の業務や取り組みを数値化することを、今年目標にしたいだけだと思います。

栄養管理の質を高め、栄養部門として いかに地域に貢献できるかを考えよう

残念ながら、栄養指導件数の増加も、NST加算の新設も、管理栄養士の環境に大きな変化を与えませんでした。

やはり管理栄養士が病棟に常駐し、栄養管理を充実させることが重要だと思えます。病棟での栄養管理が日常化すれば、NSTのような「特殊部隊」は不要になるのでは

要になるのです。これからは高齢者が急増し、治療・療養においてリハビリと栄養は両軸となります。今後は「日常的にリハビリし、栄養管理もしっかりと行う施設」が生き残っていく時代です。質を高め、栄養部門としていかに貢献できるかを、病院に、地

域に、アピールしてください。本協会としては「資格取得者へのフォローアップ」を充実させていくことが今年の課題です。スキルアップセミナーや成果発表の場の提供を行い、会員サービスをもっと手厚くする予定です。また、栄養経営士のネットワークづくりも充実させたいと考えています。日本各地の会員が繋がることで、点が線になり、面になる。そうした場の提供も行いたいと思えます。そして、仲間と会えて楽しい、ためになる、栄養経営士になって良かったと思える協会づくりを行います。

本年が栄養経営士の皆さまのさらなる活躍の年になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

“植物のチカラ”で
新たな価値を創造します。

日清オイリオグループ株式会社



“植物のチカラ”

ウェルネス食品営業部長
佐藤 晋

東京都中央区新川一丁目23番1号
TEL: 03-3206-5636
FAX: 03-3206-5687
http://www.nisshin-oillio.com

食の探求により、「おいしさ+α」
をお客様へお届けし、
新たな生活スタイルの提案をします



アサヒグループ食品株式会社

代表取締役社長
尚山 勝男

〒150-0022
東京都渋谷区恵比寿南2-4-1
TEL: 03-6303-3250
FAX: 03-3714-6123
http://www.asahi-gf.co.jp/

あっ!! というような製品を
ご提案します!!



アイドゥ株式会社

代表取締役社長
位田 毅彦

〒510-0943
三重県四日市市西日野町256
TEL: 059-329-6920
FAX: 059-329-6917
info@ai-do.jp http://www.ai-do.jp



ネスレ日本株式会社
ネスレヘルスサイエンスカンパニー

〒140-0002
東京都品川区東品川2-2-20
天王洲郵船ビル20F
TEL: 03-5769-6227
http://www.nestlehealthscience.jp/



「栄養経営人財養成講座」講師・石井富美氏からのメッセージ

「できない」のではなく「やったことがない」だけ！ 自身のスキルと知識に自信を持って一步を踏み出そう!!



2018年10月から、関東支部において3回にわたって開催した「栄養経営人財養成講座」。栄養経営士として求められるマネジメントについて幅広く学ぶ機会として、全国から受講生が集まった同講座の講師を務めた多摩大学医療介護学研究所フェローの石井富美氏から、今後栄養経営士として活躍される皆さまへのメッセージをいただきました。

業績をアピールできる指標づくりが重要

今回、栄養経営士の皆さんに向けた講義を初めて担当させて頂いたいただきました。内容としては、初回は「栄養部門マネジメントの基本」として病院経営の全体像や医療政策の流れとそこで求められる栄養部門への期待について解説し、なぜマネジメントが必要なのかという背景を理解していただきました。そのうえで、第2回は「栄養部門マネジメント戦略」として情報・データの活用や事業計画・予算計画の立て方を、第3回は「栄養部門組織力向上のポイント」として人材育成とコミュニケーションを中心に学ぶ内容としました。

実際の講義を通して感じたのは、皆さん自

分たちの職種に直接関連することについてはきちんと情報収集している反面、制度全体のことや医療分野全体の動きについては、入ってくる情報量そのものが少ないのではないかなという事です。診療報酬に直結する部分はもちろん大事。でもそこだけ見ていても仕事は広がっていきません。全体像を把握したうえで、「この部分は栄養部門が貢献している」という見方ができるようになれば経営貢献しているという意識も高まりますし、モチベーションにもなるはず。自分たちで評価指標を出して、自分たちの業績をアピールしていくことが、栄養経営士の皆さんの重要な役割になってきます。

栄養部門は人数が少

ないから意見が出せないかと思ってるかもしれないからこそ、自分たちから企画提案していかないと何も動かない。院内での動き方や企画の通し方は病院によって違うので、それを知ったうえで、自分たちの大切にしていく栄養管理の質などをアピールするにはどうすればいいか、というところをスキルとして身につけていただくと、経営層にアピールできる、新たな管理栄養士像を描くことができるのではないのでしょうか。

今年目標を定めて新たなチャレンジを
2019年、新たな一歩を踏み出すに当たって、まずはNSTが関連するもの以外のパスにおける食事を見直してみてください。バリエーションが出たときに栄養的な観点からきちんと分析ができていっているのかを見直し、関わっていない部分があればまずはそこにアプローチし

てみてはいかがでしょうか。
給食業務の管理でいえば、無駄な廃棄が発生してないかという部分をしつかりと見直してみること。食材はもちろんですが、食料管理の精度向上によってロスが改善できれば、費用削減はもちろん、「きちんと管理できています」というアピールにもなります。

講座のなかで「子ども食堂設立の企画書を書いてみよう」というワークをやりましたが、地域の課題や専門職へのニーズ、医療機関の持つ可能性など、皆さんしっかり理解されていた。やったことがないというだけで、参加された皆さんにも、今の経験やスキルがあれば十分できるんだということを感じていただけたのではないかと思います。

食に関する専門職として、新しいチャレンジをできるだけの力を持っているという事に気づいてほしい。そこで少しでも背中を押してあげることができれば嬉しいですね。

栄養経営人財養成講座 受講者の声

- 「コミュニケーションについての講義を聞き、できているようで実はきちんと伝わっていないのかもしれないと心配になりました。勉強になりました」
- 「データの出し方や損益分岐点の考え方が勉強になりました。予算書の作り方についても学んだことを持ち帰り、もう一度自分の施設の計画をしていきたいです」
- 「マネジメントについて悩むことが多かったので、改善のヒントをたくさんいただけました。グループワークをすることで、コミュニケーションスキルアップの練習になりました」

- 「普段の業務で活用できる内容+企画書作成のグループワークなど、普段考えなかった視点で物事を考えられたので大変勉強になりました」
- 「ロジカルシンキングやデータの活用について栄養士向けの勉強会で聞けると思わなかったのですがとても嬉しい。こういう勉強会をやってほしいのでありがたいです」
- 「すべてが新鮮、はじめてのお話ばかりでした。グループワークで他院の皆さんが経営に参加していることがわかり刺激になりました」

職へのニーズ、医療機関の持つ可能性など、皆さんしっかり理解されていた。やったことがないというだけで、参加された皆さんにも、今の経験やスキルがあれば十分できるんだということを感じていただけたのではないかと思います。

食に関する専門職として、新しいチャレンジをできるだけの力を持っているという事に気づいてほしい。そこで少しでも背中を押してあげることができれば嬉しいですね。

MARUHA NICHIRO
海といのちの未来をつくる

マルハニチロ株式会社

〒135-8608
東京都江東区豊洲三丁目2番20号
TEL : 03-6833-4191
FAX : 03-6833-0115
http://www.maruha-nichiro.co.jp

食べる喜びを
皆様にお届けすること
それが当社の使命です。

Healthy Food ヘルシーフード株式会社

代表取締役 **黒田 賢**

〒191-0024
東京都日野市万願寺1-34-3
TEL : 042-581-1191
FAX : 042-581-2170
https://www.healthy-food.co.jp

foodslink

株式会社フーズリンク

代表取締役
山下 純弘

〒729-0141
広島県尾道市高須町4792-10
TEL : 0848-56-2188
FAX : 0848-56-2189

ソフミート、まごころすいーつ

Good!もつ!ずと!

林兼産業株式会社

代表取締役
山下 純弘

〒750-8608
山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL : 083-266-1191
FAX : 083-266-6461
http://www.hayashikane.co.jp/mk-club/



「第3回 全国栄養経営士のつどい 大阪大会」

「栄養経営士による実践報告」
現場報告者 絶賛募集中!

協会では、3月10日に行われる「全国栄養経営士のつどい」で、実践活動の現状を報告していただく栄養経営士を募集しています。普段の業務や成功していること、失敗していること、うまくいかないことなど、どのような内容でも結構です。あなたの現場報告が、これから全国で栄養経営士が活動していくための原動力となります。

現場報告者となった方には、当日のプログラム「栄養経営士による実践報告」で発表していただきます。その後パネルディスカッションにパネラーとしてご参加いただき、その報告内容についてさらに深く掘り下げていきます。悩みや課題があれば、参加者も一緒に考えて解決に向けて共に考え、意見を出



発表後にパネラーとして参加者からの質問を受ける報告者(札幌大会より)

栄養経営士の皆さん！ 仕事は、充実していますか？
皆さんは目的をもってこの資格にトライしたはず。その目的を達成していただくために、協会では管理栄養士に不足している能力を分析し、補い、満足度の高い資格を目指して、さまざまな企画を立て、運営しています。管理者から「栄養部門がうまくいかない。

悩んだときこそ、思いを声にして仲間を増やそう!

何とかならないだろうかと相談を受けることがあるかと思えます。美味しい・適切な食事、委託との関係、人材育成、調理師(員)不足、コスト管理、多職種連携、病棟訪問がづらい、治療効果の上がる食事・栄養指導等、問題点は多岐にわたり、多々あります。改善のためには現状を分析し、プロとして逃げずに解決策を見出すしか



山下茂子理事

ありませんが、目の前の業務に追われるばかり……。そんな時こそ思いを声にして、仲間を増やすことが大切です。「全国栄養経営士のつどい」は、会員の声を届ける会です。日頃の悩み、活動を報告し、討論しましょう。届けられなかった声は、懇親会に繋いでください。今回から、講評の後、表彰を行います。奮ってご応募ください。

▼応募は「つどい」の専用webページからご登録ください。

■応募について

●現場報告者登録規定

1. 登録資格
一般社団法人日本栄養経営実践協会会員に限る。
2. 登録の受付条件
1) 現場報告者は、登録の時点で協会への会員登録手続きが完了していること。
2) 未発表の内容であること。
※未発表とは、同一の報告内容を一般に公表していないこと(他の学会、出版物等に投稿、掲載、発表していないもの、インターネットで公表していないもの等)。
3. 現場報告の受付および採否
1) 上記2.を満たしていることを条件に登録を受け付ける。
2) 現場報告の採否は審査の上決定する。

●登録締め切り
2月8日(金)

札幌大会で実践活動報告を行った発表者からのメッセージ

●報告テーマ
「教員から病院管理栄養士に転職してすぐに栄養経営士を知った私の4年間」

中頓別町国民健康保険病院 栄養管理部門責任者 鈴木 恵子さん

当日は、びっくりするぐらいの熱意と、好意的関心があふれる雰囲気の中で発表できました。人前での発表は不安かもしれませんが、パワーポイントが扱えれば大丈夫です。私の発表を、憧れの先生方がうなずきながら聴いてくださり、直接声をかけていただけただけで、自信と勇気をいただきました。

そして、過疎地に独り管理栄養士として勤務し、患者さんと病院のためになる栄養経営士として働きたいと考えていた私同様、悩みながらも頑張っている仲間が、そこには多数いました。発表後と懇親会ではたくさん声をかけていただき、生々しい現場の情報交換が出来たことも、登壇したメリットでした。

ところで、所属する病院では私が行った栄養管理を今後も継続する方針となりましたが、じつは私は2月で去ることが決まっており、後任はまだ決まっておりません。興味がある方、中頓別に来ませんか。栄養経営士として即、活躍できますよ!

●報告テーマ
「法人内における栄養部門の業務見直しと在宅訪問栄養指導の現状」

社会医療法人慈恵会 聖ヶ丘サテライトクリニック 本部事務局企画支援部統括 栄養管理課長 相馬 梨沙さん

「第3回全国栄養経営士のつどい 札幌大会」で「法人内における栄養業務見直しと在宅訪問栄養指導の現状」というテーマで実践報告を行いました。初参加での発表には緊張しましたが、他の学会で発表することのないマネジメント業務について実践報告を行ったことで、日ごろの業務を客観的に考え見直す良い機会となりました。

また、参加されたたくさんの栄養経営士の皆さんと、管理栄養士のマネジメント業務について悩みを相談し交流する時間を持てたことは、何よりも大切な財産となりました。現在もそのご縁は続いており、新たな仕事の展開へと繋がっています。

今後、実践報告を行おうと考えている皆さん、たくさんの仲間と学び成長するチャンスです。新たな報告を、全国の仲間が楽しみに待っています。勇気を出してぜひチャレンジしてください。

●報告テーマ
「管理栄養士教育ラダー導入の試み」

医療法人 湊仁会 手稲湊仁会病院 栄養部 部長 田中 智美さん

「第3回全国栄養経営士のつどい 札幌大会」では、実践報告の機会をいただきました。ありがとうございます。管理栄養士の教育ラダーの運用について発表させていただきましたが、栄養部門のマネジメントの中で、1人で悩み迷いながら部署を率いている方も多く、スタッフ教育も皆さんが共通して抱える悩みや課題であるのだということ、発表を通じて改めて認識することができました。そして、施設の垣根を越えた横の繋がりを持ったことで、課題解決に向けた糸口をいくつも見つけることもできました。

食や栄養を取り巻く環境は急速に変化しており、世の中が管理栄養士を必要としているのだと思います。栄養経営士同士の活発な実践活動報告は価値あるものだと感じます。大阪大会の盛況を心より祈念申し上げます。

●報告テーマ
「栄養経営の視点から考える栄養サポートチームのマネジメント」

IMSグループ 医療法人財団明理会 東戸塚記念病院 栄養科 千葉 枝里子さん

「第3回全国栄養経営士のつどい 札幌大会」で現場報告を行いました。発表を通して、自身の業務を客観的に振り返ることができ、また発表後に他施設の先生方からアドバイスもいただけて、今年度の取り組みにつなげることができました。

栄養経営士のつどいは、経営やマネジメントの視点から管理栄養士の業務を考える貴重な機会だと思います。自施設での実践内容が、他施設の業務改善のヒントになると考えます。

全国の栄養経営士が現場でどのような取り組みをされているのか、報告をうかがえることを楽しみにしております。

栄養経営士が知っておきたい! イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

支部研究会

2019年管理栄養士スキルアップセミナー 第1回 「管理栄養士から見た多職種連携による チーム医療の運営の現状や課題」

多職種によるチーム医療について、管理栄養士から見たチーム医療の運営課題と現状を、実際の現場の経験談を交えながら、どのように進めてきたか、そこから見える今後の課題は何かなどを探るセミナーです。

- 日 程：2019年3月9日(土) 13:30～16:30(予定)
- 講 師：島田晶子氏(名古屋ハートセンター/管理栄養士、日本栄養経営実践協会 東海支部 理事)
穂山直美氏(松波総合病院/管理栄養士、日本栄養経営実践協会 東海支部 理事)
- 会 場：日本医療企画 中部支社セミナールーム
(愛知県名古屋市中区栄2-12-12 アーク栄白川パークビル 3階)
- 定 員：50名
- ※受講料はwebの「研究会・支部活動」のページでご確認ください。
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 中部支社(担当:吉野)
TEL: 052-209-5451

支部研究会

在宅医から見た 地域インフラとしての社会活動

地域包括ケア時代を見据えた「まちづくり」の在り方をテーマに開催。医療・介護連携、多職種連携のモデルケースなど、ユニークで先駆的な事例紹介を交えながら、次世代が求める理想の地域社会に向けたインフラ整備の現状と課題を考察していきます。

- 日 程：2019年2月16日(土) 14:00～17:00
- 講 師：太田俊輔氏(太田医院 院長)
- 受講料：【会員】2,000円(税込) 【一般】3,500円(税込)
- 会 場：上田公認会計士事務所セミナールーム
(大阪市中央区道修町1-7-10 扶桑道修町ビル2F)
- 定 員：35名(先着順)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 関西支社(担当:喜津木)
TEL:06-7660-1761

協会事務局より

2019年4月期限の会員の皆さまへ 【年会費納入のご案内】

本年4月に年会費の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年会費納入のご案内を1月中旬以降に郵送しております。

ご確認、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 対象者：有効期限が「2019年4月19日」に個人正会員、栄養経営サポーター
- 年会費：【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 支払期限：3月19日までに指定口座へ振込
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL:03-5289-7021

学会情報

第38回 食事療法学会 Be ambitious! ～フロンティア精神 で挑もう! 食と医療の未来への道～

病院の管理栄養士・栄養士を対象にした各種講演のほか、当協会の北海道支部支部長である医療法人社団佳生会 理事長/こだま在宅内科緩和ケアクリニック 院長の児玉佳之氏が座長兼コーディネーターを務める、在宅栄養ケアに関するシンポジウム等も予定されています。

- 日 程：2019年3月2日(土)～3日(日) 9:30～16:00
- 講 師：田中繁道氏(深仁会グループ最高責任者医療法人深仁会 理事長)
當瀬規嗣氏(札幌医科大学医学部 基礎医学部門講座 細胞生理学講座教授)ほか
- 参加費：【一般】11,000円 【日本栄養士会会員】9,000円
- 会 場：札幌市教育文化会館
(札幌市中央区北1条西13丁目)
- 定 員：1000名
- お問い合わせ：公益社団法人北海道栄養士会
TEL:011-251-7071

「個人正会員」更新手続きのご案内

2019年4月19日に個人正会員有効期限および年会費の満了を迎えられる皆さまに、事務局より更新手続きの書類をお送りしております。2019年4月20日以降も個人正会員ならびに栄養経営士としての認定資格を継続いただくには、更新手続きと年会費の納入が必要となります。お手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 受付期間** 2019年3月19日(火)必着
- 納入金額** 更新手数料5,000円 + 年会費10,000円
合計15,000円 ※振込手数料はご負担ください。
- 申請書類**
 - 個人正会員更新申請書
 - 履歴書(過去3年分の履歴)
 - 提出課題用紙
- ※3点とも事務局から送付したものを使用
※証明写真は、登録申請前6カ月以内に撮影した無帽、正面、上三分身(おおむね胸から上)、無背景の縦3cm、横2.4cmの写真(カラー・白黒問わず)、普通紙不可
- 提出課題** 右の表から1つ選んでお送りください

条件	①「全国栄養経営士のつどい」における実践報告および登壇者	②「栄養経営士」としての自身の実践活動を詳述したレポートの提出	③協会機関紙、推薦図書への記事投稿・掲載	④栄養経営に関する講演や演題発表、論文投稿	⑤「栄養経営士テキスト」からの学びを詳述したレポートの提出
該当するもの	・第1回2016年開催in東京 ・第2回2017年開催in福岡 ・第3回2018年開催in札幌 ・第4回2019年開催in大阪		・「NMEニュース」 ・「栄養経営エキスパート」 ・「国民の栄養白書」 ・「ヘルスケア・レストラン」	・他学会 ・協会の機関紙誌等 ・学術誌 ・一般商業誌等 ・その他	
提出課題	更新申請書のみ提出	更新申請書+レポート(1,000～2,000字程度)を提出	更新申請書のみ提出	更新申請書+記事のコピーを提出	更新申請書+レポート(1,000～2,000字程度)を提出

※更新手続きの詳細は、お送りした書類を必ずご確認ください。
※お振込みと申請書類が確認できましたら、事務局よりメールをお送りいたします。
※書類が届かない場合や紛失した場合には、速やかに事務局までご連絡ください。

資格更新に関するお問い合わせ先

一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-5289-7021 FAX:03-5289-7022